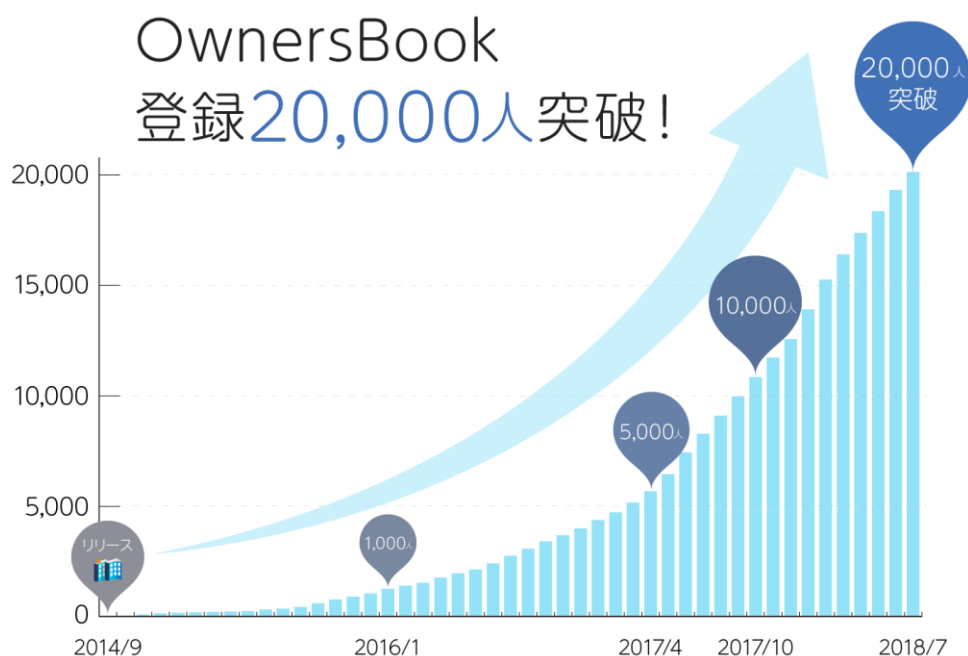


## 国内初の不動産特化型クラウドファンディング『OwnersBook（オーナーズブック）』 会員数が2万人を突破、20代・30代や地方在住者など、幅広い世代／地域への拡大が顕著 ～「運営会社としての信頼性」が高評価～

ロードスターキャピタル株式会社(本社：東京都中央区、代表取締役社長：岩野達志)が、2014年9月にスタートした国内初の不動産特化型クラウドファンディング『OwnersBook』は、この度会員数が20,000名を突破しましたのでお知らせします。

会員調査の結果、『OwnersBook』は一層幅広い世代にご利用頂けるようになり、地域も全国に広がっていることが判明しました。

同時に行った『OwnersBook』投資家へのアンケート調査によると、以前に比べ事業者の信頼性を重視する傾向が強まっていることが判明しました。



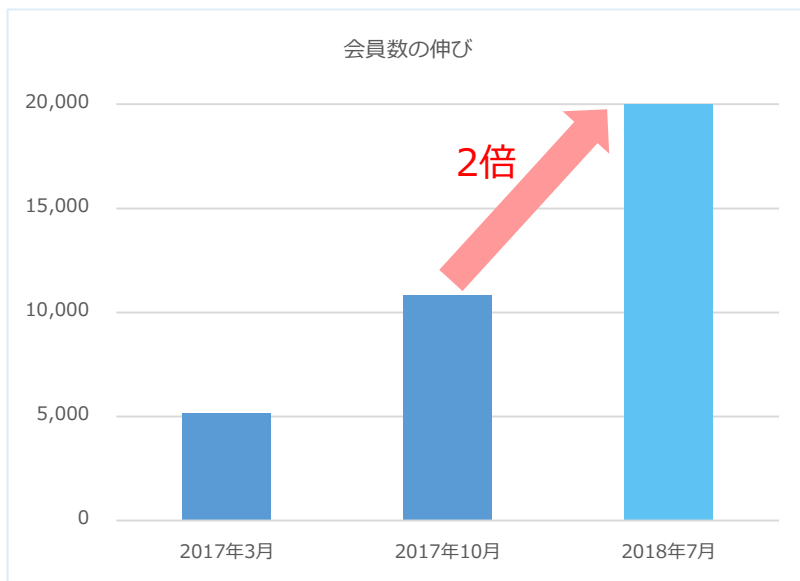
### ■調査結果サマリ

- 『OwnersBook』会員数は2018年7月に2万名を突破。2017年10月からの9ヶ月で**2倍に増加**。
- サービス開始時は40代がユーザーの過半数を占めていたが、直近では幅広い世代が利用。特に**20代のユーザーの拡大が顕著**。
- ユーザーは、初期は首都圏在住者が9割程を占めていたが、現在は首都圏以外の方が5割になるなど**全国に広まっている**。
- 多様な投資商品が出てくる中で、NISAやiDeCo、ロボアドバイザー、未公開株式CFなどは継続的に投資しているユーザーが多い結果となった。
- 『OwnersBook』投資家向けに行った調査では、**全体の約86%が事業者の信頼性を重視すると回答**。
- 今後は、ネットで手続きや確認ができ、運用の手間がかからず、プロが目利きしている商品が選ばれていく可能性が示唆された。

## 直近9ヶ月間の会員数の伸び

ソーシャルレンディングは、投資家にとっては少額投資可能・ミドルリスクミドルリターン・運用の手間がかからないという点がメリットとして受け入れられ市場規模が拡大。

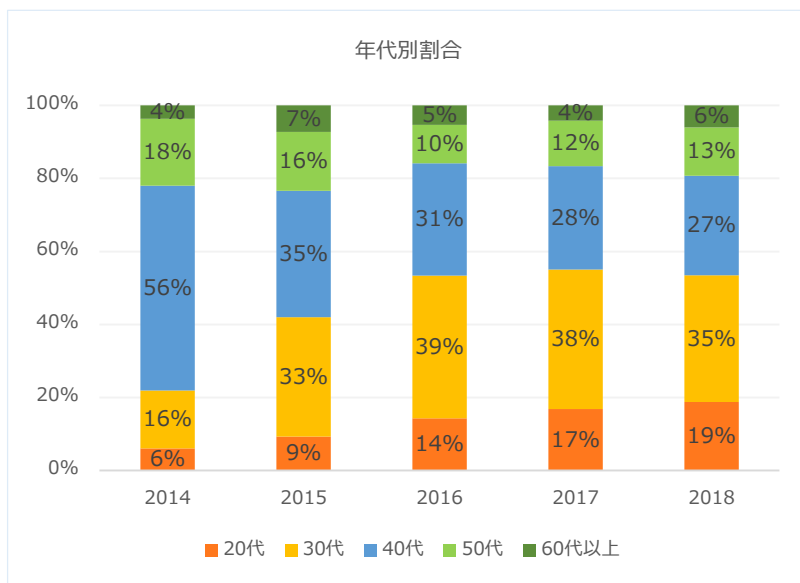
その中で『OwnersBook』も会員数が9カ月で2倍に増加。運営会社のロードスターキャピタルが2017年9月に東証マザーズ市場に上場したことや低リスクを志向する運用方針が広く知られるようになったことが、成長の大きな要因として考えられる。



## 投資家の年代別の割合

『OwnersBook』の投資家層は、サービス開始当初は40代が半数以上を占めていたが、サービスの成長とともにそれ以外の世代が増加。

特に20代・30代のユーザーの増加が際立ち、2018年7月時点では若年層が投資家の5割強を占めるまでに割合が高まった。

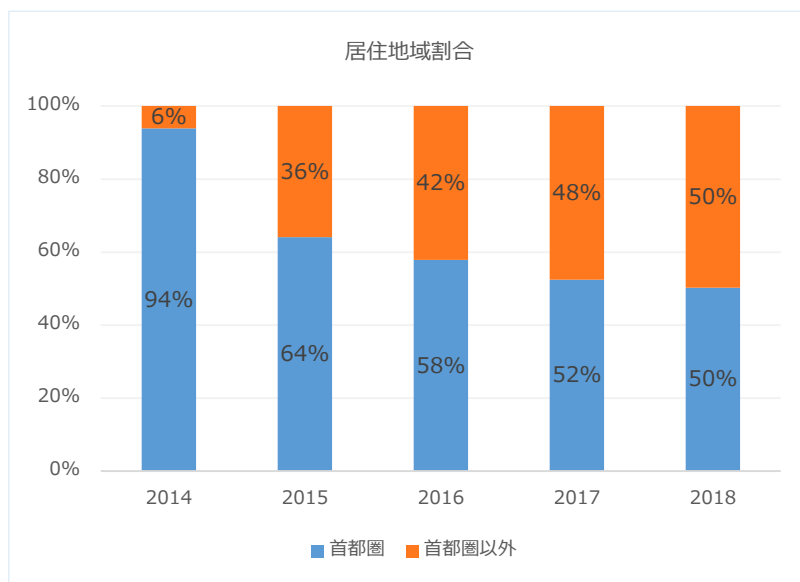


※2014年～2017年は各年年末時点、2018年は7月時点の割合

## 投資家の居住地の割合

『OwnersBook』サービス開始当初はユーザーの9割超が首都圏在住であったが、サービスの成長に伴いユーザーも全国的に増加した。

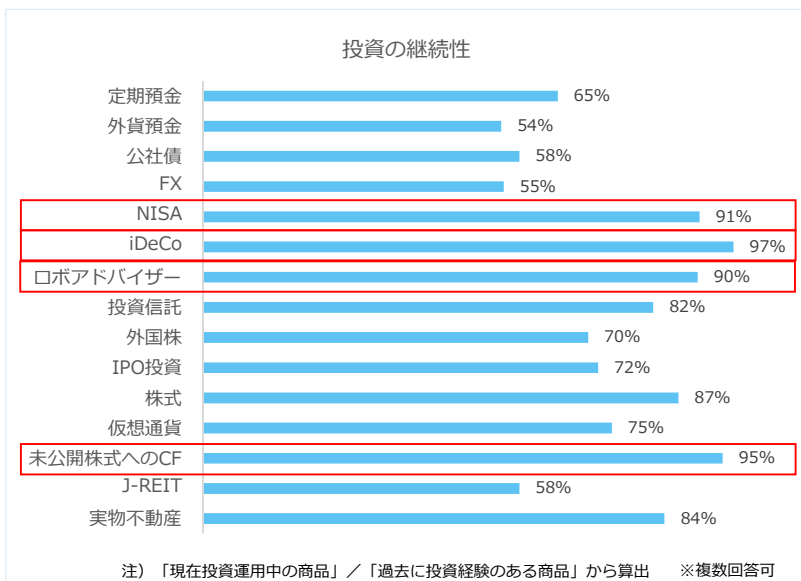
2018年7月時点で首都圏と首都圏以外の投資家割合は半々となった。



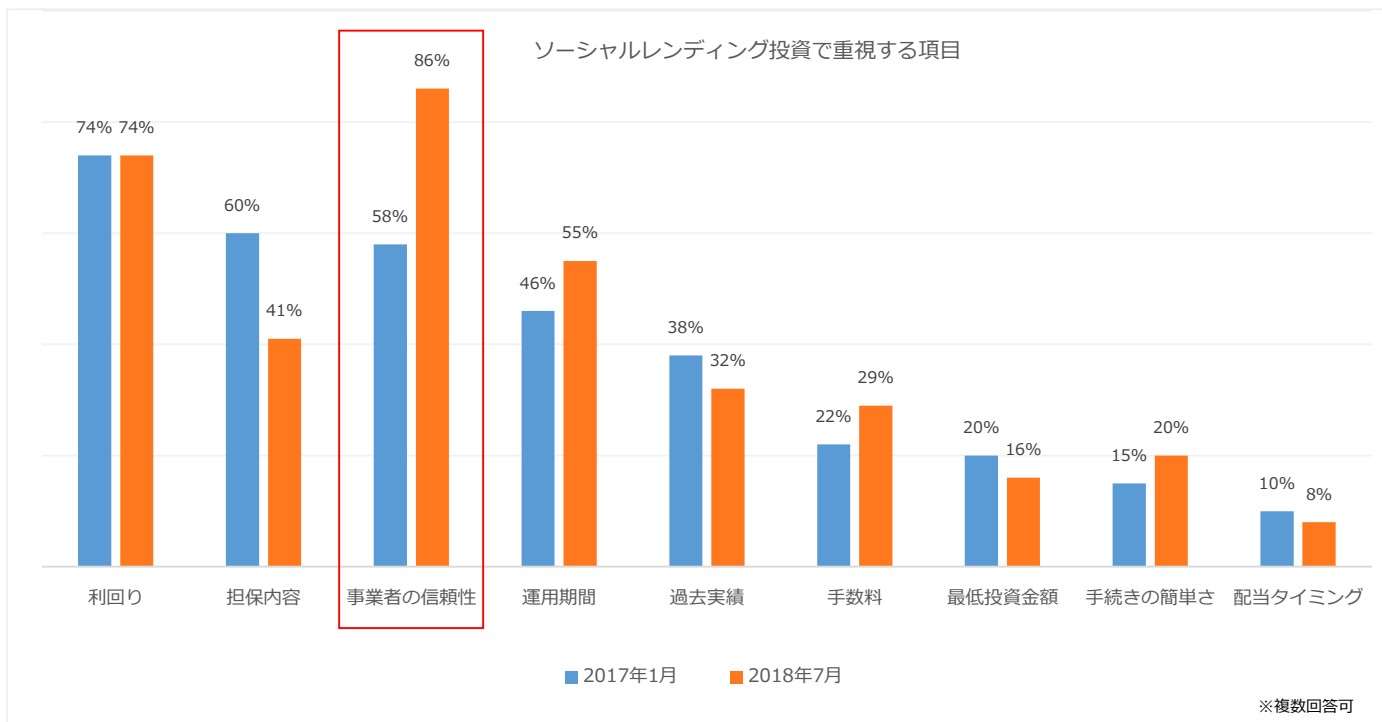
※2014年～2017年は各年年末時点、2018年は7月時点の割合

## 商品別にみた投資の継続性

『OwnersBook』投資家は分散投資をしているという結果が出たが、特にNISAやiDeCo、ロボアドバイザー、未公開株式クラウドファンディングなど、一度投資した後は運用に手間がかからず利回りも比較的期待できる投資商品においては、継続的に投資されている傾向がみられた。



## ソーシャルレンディング投資で重視すること



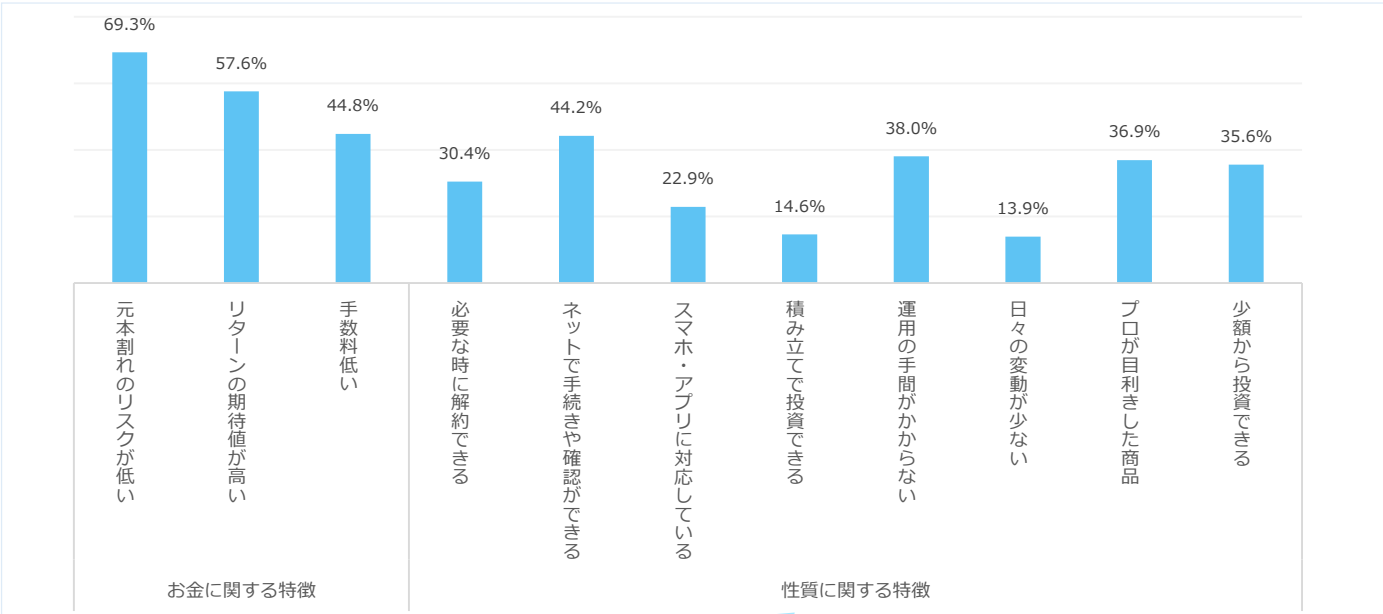
ソーシャルレンディング投資において投資家が最も重視する項目は「事業者の信頼性」という結果となった。

2017年1月時点では『OwnersBook』会員も利回りを重視する傾向が強かったが、現況のソーシャルレンディング投資においては案件のリスクと事業者のリスクを同時に取っていることが認知されるようになり、事業者自体への関心も強まってきたと考えられる。

適切に運用を行う事業者が支持される土壌が醸成されてきた中、運営会社が上場していることやリスクを極力抑える運営を行っている『OwnersBook』は運営会社としてのリスクが相対的に低いと判断されるようになり、ユーザーが着実に増加していると考えられる。

# 投資したい商品

投資したい商品として、「元本割れのリスクが低い」・「リターンの期待値が高い」等の金銭的な項目は全世代の5割以上から支持された。一方で投資商品の性質に着目してみると、「ネットで手続きや確認ができること」・「運用の手間がかからず、プロが目利きしていること」が全世代から平均的に求められていることが判明した。

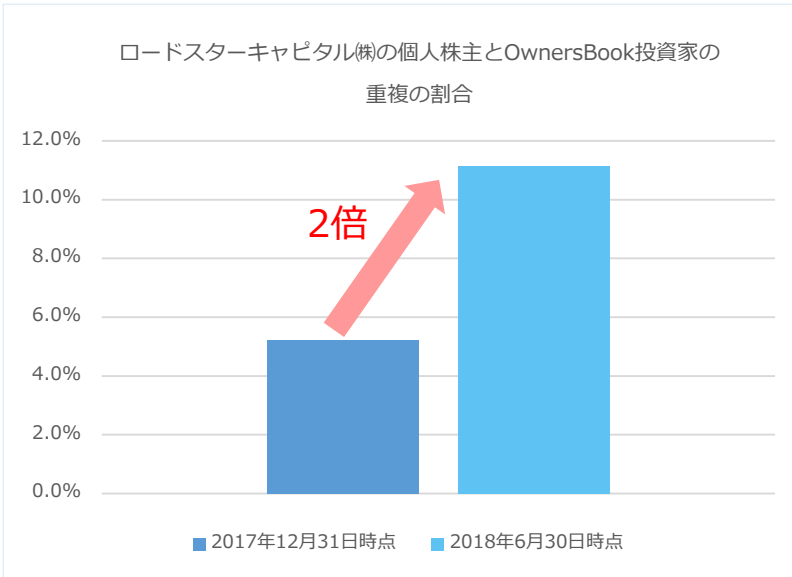


投資商品の性質	20代	30代	40代	50代	60代
必要な時に解約できる	27.5%	30.7%	29.5%	27.6%	39.4%
ネットで手続きや確認ができる	39.1%	42.0%	45.8%	46.4%	44.0%
スマホ・アプリに対応している	36.2%	25.6%	25.0%	20.9%	6.4%
積み立てで投資できる	21.7%	13.0%	18.1%	10.2%	11.9%
運用の手間がかからない	39.1%	43.3%	39.6%	33.7%	29.4%
日々の変動が少ない	8.7%	12.2%	18.1%	10.7%	15.6%
プロが目利きした商品	31.9%	38.2%	37.2%	38.8%	33.0%
少額から投資できる	56.5%	40.3%	36.5%	26.5%	25.7%

※複数回答可

## 補足：ロードスターキャピタル株式会社の個人株主との重複割合

ロードスターキャピタルの個人株主のうち、約1割が『OwnersBook』会員であることが判明した（2018年6月末時点）。2017年12月末時点と比べ、半年で2倍の増加となった。運営会社自体の成長も期待されていることが表れている。



調査内容：OwnersBook投資家会員の実態調査  
 実施時期：2018年7月5日～12日  
 調査対象：OwnersBook投資家会員  
 有効回答数：900  
 調査手法：OwnersBook会員のデータの解析

## 1万円からの不動産投資『OwnersBook』について

『OwnersBook』は、2014年9月に日本で初めて不動産に特化したクラウドファンディングとして誕生しました。Fintechと不動産テックの両分野にまたがるサービスで、迅速かつ丁寧なシステム開発を志向していること、貸付型においては全ての案件に対して一口1万円からの投資が可能であることなどが特徴です。

利回り（年換算）が4%～6%程度の案件が中心であること、全ての案件が不動産鑑定士をはじめとした不動産投資のプロが厳選した不動産担保付のものであること、今まで全ての案件が満額で成立していること、運営会社が東京証券取引所に上場していることなどにより、着実に投資家の皆様の信頼を得て、会員数・累計投資額ともに順調に成長を続けています。

URL : <https://www.ownersbook.jp/>



## ロードスターキャピタル株式会社について

運営会社のロードスターキャピタル株式会社は不動産投資分野における高い専門性を活かしてFintech領域に注力する不動産テック企業です。

【会社概要】 ※2018年3月末時点

社名 : ロードスターキャピタル株式会社

URL : <https://loadstarcapital.com/>

所在地 : 東京都中央区銀座2-6-16 ゼニア銀座ビル6階

代表者 : 代表取締役社長 岩野 達志

資本金 : 13億3,200万円（資本準備金とあわせて26億5,400万円）

事業内容 : 不動産特化型クラウドファンディング業務、コーポレートファンディング業務  
不動産仲介・コンサルティング業務、アセットマネジメント業務

## 代表取締役社長 岩野達志 プロフィール



東京大学農学部卒。一般財団法人日本不動産研究所にてキャリアをスタートし、不動産鑑定業務に従事。2000年よりゴールドマン・サックス・リアルティ・ジャパンにて自己投資・運用ファンドの不動産取得部門、2002年以降はアセットマネジメント部門。2004年からロックポイントマネジメントジャパンLLC ディレクターとしてエクイティ500億円以上、案件総額3,000億円以上を実行。ロックポイントグループの日本における不動産投資業務をリード。不動産鑑定士、宅地建物取引士。

お問い合わせ : ロードスターキャピタル株式会社 広報担当 鈴木  
TEL : 03-6264-4270 E-mail : [info@loadstarcapital.com](mailto:info@loadstarcapital.com)